

平成 22 年 事業報告書

〈平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日〉

～ 活 動 趣 旨 ～

スチール缶はお金にならないとの理由で、団体回収で集められている空き缶はアルミ缶だけでした。しかし、空き缶にはスチール缶、ブリキ缶をはじめ多くの種類があります。地域の住民、特に子供たちに「空き缶資源リサイクル」の模範を示すには、缶の種類を選ばない取り組みが必要です。

学校、企業をはじめとした地域の方々から提供頂いた空き缶のリサイクル収益金を基金として積み立て、『小学校での環境教育活動』・『社会教育活動』・『子供の健全育成活動の支援』・『リサイクル啓発活動』などへと活用します。

～理事長コメント～

多くの方々のご支援を受けながら、平成 22 年も思った以上の活動となりました。厚くお礼申し上げます。

講演会や出前授業、イベントへの参加と内容も充実し、空き缶回収においては、北九州市の環境支援活動として、他の地域からもモデルとしていただくようになりました。

環境保護、資源保護、情操教育、どれも継続と一人ひとりの力を必要とするものです。

この小さな火を、市民、行政の方々、企業団体の皆様から頂く温かい心の賜物と思い、大切にしていまいります。これからも更なるご指導をお願い申し上げます。



理事長 かわの かつのり
河野 捷紀

■ 平成 22 年の活動実績 概要

1. グリーンフロンティア助成事業
 - (1) 空き缶の募缶活動報告
 - (2) 空き缶集積ボックスの提供
 - (3) 花いっぱいプラン22／植樹活動
 - (4) 花いっぱいプラン22／地域活動
2. 資源リサイクルに関する広報及び啓発活動
 - (1) 講演活動
 - (2) 環境イベント出展
 - (3) 機関紙『空き缶通信』の継続発行



〔NPO 法人空き缶基金ホームページ〕
<http://www.npo-ubckikin.org/>

※ 当NPO法人を運営するにあたり、法律上、管轄諸官庁(県、市、税務署)にて確認をしております。

□ 税 法 「非収益事業」…空き缶収集事業、事務委託事業

□ 就 労 法 資格外労働に該当しない旨の確認

北九州市環境モデル都市地域推進会議登録団体支援事業(グリーンフロンティア助成事業)

平成 22 年 7 月、北九州市(環境局環境学習課)公募の助成事業に採択されました。

この助成事業は、環境モデル都市を推進する活動団体に対して支援を行い、地域全体の環境意識向上を図りながら低炭素社会実現を進めることを目的としています。

当法人が継続して取り組んでいる『缶の種類を問わない空き缶回収活動／環境学習支援』と『花いっぱいプラン／地域植樹活動』の活動趣旨が評価され採択に至りました。

(1) 空き缶の募缶活動報告

平成 22 年の空き缶回収重量(基金へ積み立てられる対象となった空き缶の重量)

252,698 kg (募缶事業収入額 **1,010,792 円**)



かんかん君

(2) 空き缶集積用ボックスの提供／グリーンフロンティア事業対象

空き缶回収の実施しやすい環境を提供する手段として、資源リサイクルに取り組む学校、地域団体へ計 12 個の空き缶集積用ボックスの提供を行いました。

新規に始める団体さんへの提供をはじめ、既存団体さんからの増設要望に応じての提供もしています。

提 供 先			
北九州市立ひびきが丘小学校	1 個(新設)	北九州市立高須小学校	1 個(新設)
堀越町内こども会	1 個(新設)	北九州市立城野小学校	4 個(増設)
北九州市立竹末小学校	1 個(新設)	北九州市立小石小学校	1 個(増設)
北九州市立菅生児童館	1 個(新設)	北九州市立中原小学校	1 個(増設)
北九州市立牧山小学校	1 個(新設)		



北九州市立小石小学校



北九州市立ひびきが丘小学校

(3) 花いっぱいプラン22／植樹活動／グリーンフロンティア事業対象

積み立てられた基金を用いて、空き缶回収活動に取り組む小学校へ植樹活動支援を継続中です。

今年も戸畑区の小学校を中心に、花の苗や花の成長に欠かせない培養土等を定期的に提供しました。

(4)花いっぱいプラン22／地域活動／グリーンフロンティア事業対象

空き缶回収活動に取り組む小中学校・市民団体(約120団体)へ花の苗提供アンケートを実施しました。11月初旬、希望する28団体へ、秋から春に咲く種類の苗を選定し、プランターとセットで提供しました。各団体の方々に花の苗を植えてもらい、植樹活動・美化活動に役立てていただきました。

提 供 先					
1	沼校区まちづくり協議会	10	鞘ヶ谷まちづくり協議会	20	北九州市立竹末小学校
2	平野まちづくり協議会	11	富野校区まちづくり協議会	21	北九州市立中原小学校
3	若松区第 32 区自治区会	12	霧丘校区まちづくり協議会	22	北九州市立中原中学校
4	牧山まちづくり協議会	13	守恒校区まちづくり協議会	23	北九州市立皿倉小学校
5	枝光一区地域まちづくり協議会	14	北九州市立小森江東小学校	24	北九州市立小石小学校
6	小森江東まちづくり協議会	15	中島校区まちづくり協議会	25	北九州市立牧山小学校
7	星が丘校区まちづくり協議会	16	北九州市立若松中央小学校	26	北九州市立鳴水小学校
8	大谷まちづくり協議会	17	北九州市立向洋中学校	27	フレンズ(地域団体)
9	北小倉校区まちづくり協議会 さざんか公園愛会	18	北九州市立足原幼稚園	28	北九州市立あやめが丘小学校
		19	桜丘校区まちづくり協議会	受付登録順	

(提供品) ノースポール、パンジー、ピオラ、ナデシコ、クリスマスローズ、球根、培養土 など

毎年、空き缶で得た積立金の一部を使って、「花いっぱいプラン」として市民団体と共同で緑化活動に励んでいますが、今年採択されたグリーンフロンティア事業により、益々、北九州市民の方々へ「空き缶と花」のイメージが結びついてきました。

活動写真報告の一例



玄関や体育館周りに配置したフラワーポットです。

北九州市立あやめが丘小学校



子供たちの豊かな学校生活を支える環境づくりに活用。

北九州市立皿倉小学校



市民センター入口を華やかに飾っています。

霧丘まちづくり協議会



中庭の花壇に植えました。しっかりと育てます。

北九州市立牧山小学校



すくすくと花が育っています。有難うございました。

北九州市立中原中学校



公園の一角に植えました。

若松区第32区自治区会

資源リサイクルに関する広報及び啓発活動

(1) 講演活動

出前講演(リサイクルに関する授業)や一般講演を活動計画に盛り込んでいます。

横つながりでの紹介による講演依頼が増え、平成22年は計15回の講演活動を行いました。当NPO法人の活動に加え、資源リサイクルの大切さや環境活動を通じた人との交流のすばらしさを、様々な年代、様々な機関の方々へ講演しました。

	日付	項目	講演先		日付	項目	講演先
①	2/20	講話	北九州市立中原小学校	⑨	7/28	講話	キリンビバレッジ(株) 東京本社
②	3/16	講話	広島商工会議所	⑩	8/5	講話	北九州市立菅生児童館
③	4/12	講話	小倉食を考える会	⑪	8/11	講演	九州工業大学
④	4/16	講話	サントリー工場見学	⑫	10/27	講演	九州工業大学
⑤	4/22	出前授業	年長者研修大学「周望学舎」	⑬	11/28	講演	福岡教育大学 OB 会
⑥	6/3	出前授業	北九州市立竹末小学校	⑭	11/29	出前授業	環境フォーラム in 曾根東
⑦	6/15	講演	北九州市立校長会	⑮	12/14	出前授業	北九州市立曾根東小学校
⑧	7/7	講演	八幡東警察署				

(2) 環境イベント出展

今年も様々なイベントに出展させていただきました。どのイベントも大人だけでなく、子供さんにもリサイクルについて興味を持ってもらえるよう、趣向を凝らした内容になるように心掛けました。

- ☐ 空き缶つぶし機の設置
- ☐ リサイクル工程図シート(テント壁に貼り付けた)
- ☐ 磁石アームでのスチール缶釣り
- ☐ 環境商品の展示

来場者の方々に、鉄や資源リサイクルに関する冊子を提供し、またブース内では、子どもさんに“鉄”や“空き缶”の素材で作ったゲームで楽しんでいただきました。

◇ 主な参加(出展)イベント 一覧 ◇

	日付	イベント名
①	4/24(土)~4/25(日)	小倉コロナワールド2周年イベント in 小倉コロナワールド
②	6/5(土)~6/6(日)	戸畑菖蒲まつり in 夜宮公園
③	8/18(水)	北九州こどもの未来をひらく教育セミナー in ウェル戸畑
④	10/16(土)~10/17(日)	北九州市エコライフステージ 2010 in 北九州市役所前
⑤	11/5(金)~11/7(日)	起業祭 2010 in 大谷体育館 前広場

(3) 機関紙『空き缶通信』の継続発行

参加団体さんの情報交流を目的とした『空き缶通信』発行を開始して丸7年が経ちました。今年は計5回の発行に留まりましたが、累計78回の発行を数えます。

平成23年は、参加団体さんの情報交流を目的とする原点に立ち返り、『空き缶通信』を毎月1回発行していきます。



平成 22 年 事業報告書

〈平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日〉

～ 活 動 趣 旨 ～

スチール缶はお金にならないとの理由で、団体回収で集められている空き缶はアルミ缶だけでした。しかし、空き缶にはスチール缶、ブリキ缶をはじめ多くの種類があります。地域の住民、特に子供たちに「空き缶資源リサイクル」の模範を示すには、缶の種類を選ばない取り組みが必要です。

学校、企業をはじめとした地域の方々から提供頂いた空き缶のリサイクル収益金を基金として積み立て、『小学校での環境教育活動』・『社会教育活動』・『子供の健全育成活動の支援』・『リサイクル啓発活動』などへと活用します。

～理事長コメント～

多くの方々のご支援を受けながら、平成 22 年も思った以上の活動となりました。厚くお礼申し上げます。

講演会や出前授業、イベントへの参加と内容も充実し、空き缶回収においては、北九州市の環境支援活動として、他の地域からもモデルとしていただくようになりました。

環境保護、資源保護、情操教育、どれも継続と一人ひとりの力を必要とするものです。

この小さな火を、市民、行政の方々、企業団体の皆様から頂く温かい心の賜物と思い、大切にしていまいます。これからも更なるご指導をお願い申し上げます。



理事 長 かわの かつのり
河野 捷紀

■ 平成 22 年の活動実績 概要

1. グリーンフロンティア助成事業
 - (1) 空き缶の募缶活動報告
 - (2) 空き缶集積ボックスの提供
 - (3) 花いっぱいプラン22／植樹活動
 - (4) 花いっぱいプラン22／地域活動
2. 資源リサイクルに関する広報及び啓発活動
 - (1) 講演活動
 - (2) 環境イベント出展
 - (3) 機関紙『空き缶通信』の継続発行

みんなが取り組む
空き缶回収

事務局 特定非営利活動法人 空き缶基金
〒808-0872 北九州市小倉南区大字 1-1-1
TEL 093-872-2550 FAX 093-872-6233

【NPO 法人空き缶基金ホームページ】
<http://www.npo-ubckikin.org/>

※ 当NPO法人を運営するにあたり、法律上、管轄諸官庁(県、市、税務署)にて確認をしております。

□ 税 法 「非収益事業」…空き缶収集事業、事務委託事業

□ 就 労 法 資格外労働に該当しない旨の確認